



## やりきる(弓道部雑感)

6月17日～19日に鳥取県立武道館において、中国高校弓道選手権大会が行われ本校3年生部員も多くが引退をした。この学年はコロナ禍の影響をまともに受け、インターハイ、国体を始め多くの全国大会、中国大会の中止。大会が開催されても規模の縮小や大会方法の変更が行われた。多くの大会で保護者の試合観戦はもちろん、部員の応援も禁止で行われ、寂しい大会運営にもなった。このように大会の出場機会が失われることとなったが、めげずに3年間頑張り、やりきった。弓道は対戦相手がいるが、自分が的を外さなければ勝ち抜くことができる。だから自分との戦いである。大会の経験値が不足している中で、<sup>あ</sup>中て続けるのは難しい。本当にこの学年は自分との戦いに挑んだ学年であった。願わくば将来、再び弓を執る日が来ることを期待したい。



僕の弓道部での3年間は挫折と成長の繰り返しでした。1年生の時は同級生に負けないため、人一倍練習を重ね、日々努力をしてきました。それでも思うように結果が出ず「もう無理だと」諦めてしまうようになりました。ですが2年生の時に後輩ができ、「負けられない」と思った僕は今まで以上に努力しました。その結果、全国高校弓道選抜大会(水戸市で開催)に出場したり、3年生時には国体選手にも選ばれました。つらい経験もありましたが、その事から逃げずにまっすぐに向き合うことで新しい経験や成長につながりました。この経験を今後の人生に生かしていきたいです。(部長 福留(M3))

私が弓道部に入部したときには女子部員がいなく、心細い経験をたくさんしました。男子とは体力や筋力が違い、技術で補わないといけなかったので人一倍努力をしました。初出場した公式戦の新人戦で優勝することができ、全国高校弓道選抜大会(岐阜市で開催)への出場を決めましたが、コロナの影響で個人戦は開催されず悔しい思いをしました。2年生になってもコロナの影響は収まらず、満足のいく練習ができないまま大会に臨み、結果が残せないこともありました。しかし今年度の中国高校弓道選手権大会は制限があったものの、中国5県が一堂に米子に集まり、私にとって初めての大きな大会となりました。そして今までの努力が実を結び、8位に入賞することができました。後輩たちにも良いものが残せたと思うので頑張ってもらいたいです。(副部長 福田(M3))



行事予定 7/18(月) ものづくりコンテスト県大会測量  
7/19(火)～7/21(木) 保護者懇談会(授業は午前中3限)  
7/22(金) 基礎力診断テスト(1・2年)SPI模試(3年)  
今週末の大会予定: 硬式野球部、軟式野球部、弓道部、ボート部、ラグビー部、ものづくり同好会(測量部門)

